

【令和4年度新羽町連合町内会のイベントについて】

2022年3月現在

※町会長会議での集約のほか、各町会役員、スポーツ推進委員、青少年指導員の方の報告も含まれます

イベント	町会	南町内会	大竹町内会	中の久保町内会	中央町内会	新羽町自治会	新羽町町内会	北新羽町内会	クリ北自治会	新羽サマーフェスティバル 全体まとめ
観音寺おまつり 4月25日(月)		遺族会と今後の活動を調整								
新羽サマーフェスティバル 8月20日(土)	開催可否 意見見	－ 言及なし	－ 言及なし	× 中止	× 中止	× 中止	－ 言及なし	△ 条件付き開催	－ 言及なし	開催 0、中止 3、様子見 1、意見なし 4。 令和4年度の新羽サマーフェスティバルは中止。
合同歌者の集い 9月19日(月)		高齢者が集まり食を伴い、芸芸出演者の感染症防止対策が困難であることから、開催は困難。開催は各町会で感染症防止対策を施してそれぞれ可能な範囲で対応する。								
新羽地区健民祭 10月16日(日)	開催可否	○ 開催	× 中止	△ 様子見(条件付開催)	× 中止(条件付開催)	× 中止(条件付開催)	○ 開催(新しい形式)	△ 条件付き開催	○ 健民祭イメージ変更	健民祭 全体まとめ 開催希望 3、中止 3、様子見(条件付開催) 2
	コロナ禍が継続している場合	【開催の可否】 健民祭とコロナとの関連は行政の指示に従う。	・現時点では中止。 ・開催するメリットも十分わかってるので開催する際は反対はしない。 ・開催になった時に人を集めることができない。 ・大竹は小中学生が合わせても一桁の人数しかいない。 ・大人も殆どが高齢者で、スタッフ、参加者ともに集めることが困難。 ※3年前の開催の時もお手伝いお願いしますとお願ひしても歳を理由に断られた。	10月開催だが、いまのコロナの感染がどう推移するか不明であり、準備期間を逆算すると5月までには結論が必要	①コロナ禍での開催は困難。 ただし、長年継続している行事なので消滅させたくない。	(1)開催は困難。 野外ではあるが、大人数が集まり、観るだけでなく競技にも参加(蜜となる)するリスクがある。	●開催すべきかどうか 時間短縮(午前中)で開催して欲しい。 ●参加者・競技内容 町会対抗ではなく、子どもから大人まで自由参加。競技は健民祭で実施していた競技の中から感染リスクの少ない競技をアレンジして実施する。(年代は問わず) 例：グランドボールをトラックでリレーする。ボール送りを子ども大人と一緒に行う。 ●得点競技の有無 競技は得点競技とする。例として、参加者が受付で抽選を行い、紅白に分かれて競技ごとに得点を競う。	●状況を見て開催 ・町会対抗は減らすのが良い ・参加者集めに苦勞する ・決定事項には従う	①4町会対抗の紅白戦 ②健民祭ではなく、スポーツフェスタと題して、測定結果を出し自由参加型(「健民祭」のイメージが競争を連想してしまうので抵抗がある) ③子どものいない健民祭になり得るので誰でも参加できる種目と今までのような○係は作らず、午前で終了。 ④新羽町宝探し ⑤新羽町クリーン大会(ゴミ拾い大会) ⑥8月1日水の日にちなんだ町全体でマイナス2度下げよう大会。	【令和4年度】 ○歴史あるイベント(港北区内では新羽が最長)なので、コロナ禍後も継続できるよう務める。 ○健民祭のイメージを脱してスポーツフェスタにする。 ○新しい形式で健民祭を開催する ○令和4年度の開催は現時点では困難。 ○実施しても午前中で終わる。 ○ただし、状況を見極めながらできること、代替開催についての検討は行う。 ○従来の種目から感染リスクの少ない種目を選んでアレンジする。 ○新羽サマーフェスティバルの中止に伴い、サマーフェスティバル出演者やスポーツチーム、団体の発表の場を用意する。 ○原則として競技の安全上必要な場合以外の年齢による制限は設けない。
	コロナ禍が収束した場合	【総論】 従来通り、町会対抗の競技として開催希望する。 【各論】 出場者の人数確保が難しいのが小学生1年～3年だが、従来からの競技内容であれば南町内会としては出場者の確保はできる。 【連合町内会としての検討】 実行委員会を立ち上げて、町会ごとの出場可能な員数の確認、対抗戦競技について公平性の面で少ない町会にあわせる等配慮する。 実行委員会のメンバーはスポーツ推進委員と青少年指導員、その他団体が当たる。 8月中旬までに健民祭開催の内容を連合町内会長に答申する。 出場者の減少は各町会の共通している問題点で参加者が少なくとも競技種目はできる限り維持する工夫をする。	開催する場合 ・時間短縮 ・午前中の開催で昼食はなし ・競技内容縮小 ・得点競技はなし	①開催する場合、時間の短縮 ②発表の場の提案(ダンス、武道)参加、見学、体験スポーツ、グラウンドゴルフ、サッカーシュート、野球ノック ③新羽五輪大会、新羽クリーン大会 ④日程は一日ではなく期間を設定、 ⑤小中学生の参加したいスポーツのアンケート調査、小中学校の校庭を借用する。	コロナ禍がおさまれば、開催できる可能性もある。 ②今後の健民祭は、種目を減らし、午前中で終了する。 年齢制限をなくし(子供、高齢者の選出が難しい)、楽しめる競技普及させたい競技(バタンク、グラウンドゴルフなど)を行う なお、町会対抗については賛否両論あり。	●まとめ ・地域コミュニティが少なくなっていることから、新しい形式で健民祭開催を希望したいという意見が多い。 ・しかしながら、運営サイドの負担を考慮すると、本年は既存競技の中から幅広い年代層が楽しめる競技に特化し、多くの人に楽しんでもらえるようにして欲しい。 ・特に子どもは得点競技だと盛り上がるので参加への動機付けとして得点競技にすることが望ましい。 ・併せて、開催するとなった場合、何故開催するのか?動機付けの説明(アナウンス)が重要になる。 ・会場では、子どもに魅力的な景品が当たる抽選会(最後に実施する)や家族向けの大抽選会を提案したい。(参加者へのアピールになると思います) ・経費はこれまでの景品を廃止するとともに、弁当代がかからなくなることから、十分捻出できるものあを考えている。	【今後の方向性】※できるだけすべての意見に反応とする ○なんのために開催するのか、目的を明確に、そして共有する ○健民祭の名称は今後も残す。新しい形式で健民祭を開催する。イメージを変えるために、親しみやすいサブタイトルを付ける(サマーフェスティバルのように) ○原則として午前中開催で昼食なし。 (後片付けなどで午後になってしまう可能性はある) ○競技を減らす。内容を見直し、自由参加型にしていく。 ○年齢制限なし ○体力測定。さわやかスポーツや野球のノック、サッカーのPK、ピッチングなどスポーツ体験できるもの。少年および壮年スポーツチームによる体験会、練習や試合見学。 ○グラウンドゴルフ、バタンク、インディアカなど普及させたいスポーツの体験や地域、町会チームの対戦。誰でも自由参加できる競技や抽選会。 ○期間を設定して新羽五輪大会の実施。 ○新羽宝探し、クリーン大会など、地域全体を会場にしたイベントの実施。 ○スポーツ推進委員、青少年指導員、健民祭町会役員による実行委員会の立ちあげ。 ※新羽サマーフェスティバル、新羽地区健民祭実行委員会の設置および事務分掌に関する規約を再確認、見直し。 ※なお、子どもが集まらないので、子どもや保護者を対象にアンケートの実施も検討する。			